

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2018年7月22日 NO.982



きらとみひこ

吉良富彦です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

ビキニ被災船員 県が健康相談会

健康対策課と 危機管理部に要請

● 13日、ビキニ水爆実験による元マグロ漁船員の死亡率に有意性が認められる統計的資料を健康対策課と危機管理部に提出し、対応を協議。



健康対策課では県による健康相談会や保健師への研修企画の具体化を図ることが語ら



れました。危機管理部では、国連軍縮会議の高知開催の可能性についても離されました。

20日に判決 国家賠償訴訟

●被災から64年、高知の元マグロ漁船員や遺

族45名が国を相手に2年前の5月に起こしたビキニ国家賠償訴訟の判決が、20日13:30高知地裁で下される。日本政府はアメリカとの政治決着で、ビキニ事件を第5福竜丸だけに矮小化し隠し続け、高知のマグロ漁船員はじめ被災船員に何の救済もしなかった。この「国の連続的不法行為」に対して司法がどう判断するのか注目されます。



キラリン にやんでも通信

34度の猛暑、キツイ日差しの中、金曜日で定例街頭宣伝を行うと「宴会しよった安倍は許さん」と、わざわざ引き返して言いに来る方もいました。

●豪雨災害に見舞われた被災地域の視察を行い、県と国に対して、要望書をまとめ、来週早々にも提出する運びとなっています。
一方、安倍政権は国民の苦難を一向に顧みず、宴会にうつろを抜かしていた事が、大きな批判を食らっています。

